

7 環境教育と啓発

環境施策を職員に浸透させるため、啓発活動を行っています。「環境基本宣言」の具体化として始まった「日本郵政公社環境大賞」は2年目を迎え、より充実した社内推奨制度へと発展しています。

各種訓練による啓発

中央郵政研修所をはじめ、全国10か所の郵政研修所において、新規採用基礎訓練をはじめとした各種訓練・研修の中で、環境への取組について啓発を行っています。

社内報による啓発

月1回発行している社内報「郵政」に『こんなエコ・あんなエコ・みんなエコ』というコーナーを設け、環境に関する情報や郵便局での取組例等を掲載し、職員への啓発を行っています。



日本郵政公社環境大賞

日本郵政公社は、「環境基本宣言」の具体化の一環として、各郵便局等における環境保全への取組を奨励し、環境施策を円滑に推進するため、平成15年度から「日本郵政公社環境大賞」(社内推奨制度)を創設し、郵便局等における優秀な環境への取組を推奨しています。

平成16年度においては、平成15年11月28日(金)に、「スタートダッシュ推奨」として公社発足から半年間の取組を対象に、平成16年6月14日(月)には平成15年度通年の取組を対象に、そして、平成17年6月27日(月)には平成16年度中の取組を対象とした環境大賞の授与式をそれぞれ本社において実施し、総裁賞、環境委員長特別奨励賞等の授与を行いました。



写真提供：通信新聞社

VOICE

できることから確実に!

西春郵便局 総務課 山田峰士



日本郵政公社発足に伴う「環境基本宣言」をきっかけとして、「できることから一つずつはじめよう」を合い言葉に、順次取組をスタートしました。局内で環境に関する提案を募集したところ、非常勤職員を含め約7割の職員から提案があり、実現可能な提案はすべて実施しています。

毎月18日を「環境整備の日」として定め、環境について職員が改めて考える日としています。これまで、空調について不満の声が出たりしたこともありましたが、どれだけ節減できるかを数値で説明したり、暑い時期には冷たい「おしぼり」で暑さをしのぐなどの工夫をして理解を得ました。職員全員で取り組んだ結果、日本郵政公社環境大賞を2年連続で受賞することができました。

- 1) できることからまず実施する。
- 2) 成果を職員に見せる。
- 3) 経費節減ではなく、環境負荷削減は公社として取り組まなければならない課題の一つであることを認識させる努力を継続する。

以上をモットーに、これからも日本郵政公社は環境に配慮することをお約束します。



平成16年度 日本郵政公社環境大賞

総裁賞

分野	受賞団体名（受持支社等）	取組概要
環境負荷削減	渋谷局（東京）	<ul style="list-style-type: none"> ・JPSによるスペース生み出しにより電気使用量削減をはじめとした環境負荷削減 ・燃料削減—車両燃費コンテストの実施 ・環境ハトロールの結果を受け具体的改善策を検討、PDCAサイクルによる取組の実践 など

環境委員長特別奨励賞

分野	受賞団体名（受持支社等）	取組概要
環境負荷削減	特推連東京西南連絡会 世田谷南部会（東京）	<ul style="list-style-type: none"> ・「一人一点エコ宣言」の実施 ・部会内全職員が取り組むべき環境施策を宣言、上半期・下半期ごとに自己評価 ・廃棄物の削減、リサイクルの推進 ・可燃ごみ、不燃ごみ、資源回収ごみの分別 など
	川崎中央局 （南関東・神奈川）	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車の燃費調査実施 ・両面印刷の推進、両面印刷マニュアルの作成掲出、コピー機各課使用節減状況順位付け（毎月公表） ・使用済みインクカートリッジ回収、リサイクル ・川崎中央局エコ新聞の発行 など
	立山局（北陸・富山）	<ul style="list-style-type: none"> ・空調適温化、両面コピー徹底、アイドルストップ実施、分別回収BOX設置、職員教育実施等の取組により「立山町版事業所環境ISO-B」の認定取得 ・管理者、役職者による毎日の環境ハトロール実施 など
	西春局（東海・愛知）	<ul style="list-style-type: none"> ・光熱水量等の削減—暖房機器類見直し、冷風・余熱利用 ・両面印刷徹底、廃止式紙有効活用等 ・消耗品リサイクル回収BOXの活用 ・ブロック自主研での環境取組発表 ・地域との連携—西春町環境特別優良事業所として認定 など
環境社会貢献	札幌市内及び札幌市近郊郵便局（北海道）	<ul style="list-style-type: none"> ・札幌市内、札幌市近郊郵便局及び支社職員354名の参加により、シラカバ等約1,500本を植樹（5月） ・育樹活動の一環として植樹した苗木周辺の下草刈り実施（9月） ・郵政公社の環境中期計画に連動した3年計画での取組
	特推連香川県東部連絡会 （四国・香川）	<ul style="list-style-type: none"> ・山林火災により総面積の10分の1に当たる緑が焼失した香川県直島の緑を取り戻すため自治体・ボランティア団体等とともに植林活動を実施 ・参加者180名で黒松等約1,500本の苗木を植林、また今後の植林活動用として植林用具を直島町に寄贈

環境委員長奨励賞

分野	受賞支社等	受賞局等	受賞支社等	受賞局等
環境負荷削減	北海道	丘珠局	中国	岡山中央局（岡山）、津山局（岡山）
	東北	天童局（山形）、郡山局（福島）	郵便貯金事務センター	仙台貯金事務センター（宮城）
	関東	八千代局（千葉）	簡易保険加入者福祉施設	伊豆高原簡易保険保養センター（静岡）
	近畿	京都中央局（京都）		

個人推奨

受賞者名（所属局／受持支社等）	取組概要
大館和広（紋別局／北海道）	<ul style="list-style-type: none"> ・昭和56年から24年間、「自然公園指導員」として道内各地の国立・国定公園内での清掃ボランティア活動を数多く実施、また同年から毎年紋別市コムケ湖周辺清掃ボランティア活動を市民に呼びかけ実施 ・鳥類研究所の標識調査員として鳥類標識調査を実施 ほか
大橋秀夫（半田美原局／東海・愛知）	<ul style="list-style-type: none"> ・長年、地元半田市を中心に「自然観察会」「星空観察会」「自然観察路の整備」等、数多くの自然環境保護活動を実施 ・平成4年から9年間、環境省パークボランティアとして上高地での自然解説と清掃活動を実施 ほか

特別賞

受賞理由	受賞団体名（受持支社等）	取組概要
ISO14001 認証取得	野田局（関東・千葉）	<ul style="list-style-type: none"> ・平成16年8月、全国の郵便局として初めて環境マネジメントシステムの国際規格であるISO14001の認証を取得 ・環境マネジメントシステムの構築及び運用、環境負荷削減等各種環境施策への取組
	枚方東局（近畿・大阪）	

環境マネジメント
環境教育と啓発